

神栖市における津波対策事業

※H25年度実績値は見込みとなります

(計画の策定)

No.	実施機関	事業名	事業内容	実施年度	実施状況	実績
1	市	地域防災計画の改訂	東日本大震災の教訓を踏まえ、計画の内容を見直し、津波災害対策編を追加。	H24	実施済	平成24年度末に改定。内容は市ホームページに掲載。

(監視及び情報伝達)

No.	実施機関	事業名	事業内容	実施年度	実施状況	実績
2	市	防災カメラ設置	大地震発生時の海面の変動を察知するため、防災カメラを設置し、その映像をライブ映像でインターネット配信。	H24	実施済	鹿島港消防署、波崎RDFセンターにカメラ設置。動画配信サイト「Ustream」にてライブ映像を配信。
3	市	MCA無線設置工事	災害時に電話回線が不通になった場合の情報収集及び伝達網の確保を目的として、防災MCA無線システムの運用を開始する。	H24～	実施中	[H24年度] 計41台 市役所、高等学校、総合病院、コミセン等 [H25年度] 計39台 小中学校、幼稚園、保育園等の避難所 ※機器は5年間のリース契約

(津波浸水区域等の調査)

No.	実施機関	事業名	事業内容	実施年度	実施状況	実績
4	県	津波浸水区域調査	復旧・復興の基礎資料となる東日本大震災の津波浸水区域(実績)を図化	H23	実施済	H23.9 津波浸水実績図を公表
5	県	津波浸水想定区域調査	今後の津波避難計画や津波ハザードマップの基となる津波浸水想定区域図の作成	H23～H24	実施済	H24.8 新たな津波浸水想定図を公表

(自主避難の促進)

No.	実施機関	事業名	事業内容	実施年度	実施状況	実績
6	市	津波避難シミュレーション	県が公表した津波浸水想定区域を基に、市民を安全に避難させる避難路等のシミュレーションを実施。	H24	実施済	シミュレーション結果を基に、鹿島港南北公共埠頭周辺及び波崎地区の3地区の津波避難計画を策定。

7	市	津波ハザードマップ作成	県が公表した津波浸水想定区域を基に、避難場所や浸水域、避難経路等を示したマップを作成。	H24	実施済	避難場所や浸水域などの情報や避難シミュレーションの結果を踏まえた避難方向を示したハザードマップを39,200部作成。行政区を通じて各戸へ配布するほか、市内のセブンイレブンや公共施設にて配布
8	市	津波避難計画の作成	津波避難計画を作成し、ホームページに公開するほか、津波浸水想定のある著しい市内3地域の避難困難区域内(鹿島港北公共埠頭周辺、南公共埠頭周辺、舎利浜地区)の各戸に配布する。	H24～H25	実施済	[H24年度] 津波避難計画作成 [H25年度] 印刷及び配布 鹿島港北公共埠頭周辺:474世帯 鹿島港南公共埠頭周辺:75世帯 舎利浜地区:34世帯
9	市	海拔表示看板等の設置	市民の避難行動に資するよう、電柱に海拔表示看板を設置。また、カーブミラーの支柱に海拔表示シールを貼付。さらに、浸水深度の表示看板を設置。	H23～	実施中	看板設置 [H23年度] 100箇所設置 [H24年度] 200箇所設置 シール貼付 [H25年度] 200箇所 津波浸水深度表示看板設置 [H23年度] 15箇所
10	市	津波避難誘導看板の設置	速やかな避難行動がとれるよう、避難困難区域を対象に、誘導看板を設置	H25	実施中	[H25年度] 北公共埠頭周辺60箇所に設置予定
11	市	津波避難訓練の実施	市民を対象に、巨大地震を想定し、住民避難行動を中心とした実践的な訓練を実施	H23～	実施中	[H23年度] 参加者 16,985人(H24.3.11) [H24年度] 参加者 10,980人(H25.3.10) ※H25年度はH26.3に実施予定
12	市	学校等における防災教育	津波避難に関する講演会や、避難訓練、防災マップの作成等の防災教育を実施	H24～	実施中	[H24～H25年度] 津波避難をテーマにした防災講演会開催 避難所生活体験 防災マップ作成 学校地域合同の避難訓練等

(津波の防護)

No.	実施機関	事業名	事業内容	実施年度	実施状況	実績
13	市	砂丘等整備事業	海岸防災林の保護・再生のため砂丘造成、堆砂垣の設置及び松等の植栽を実施する。海岸線約14.5kmのうち、浸水が想定される箇所及びその後背地の保安林について、県と市が協力して整備を行う。	H24～	実施中	[H24年度] 砂丘造成・堆砂垣設置 1,312m 植栽 12,294㎡ [H25年度] 砂丘造成・堆砂垣設置 1,168m 植栽 1,248㎡

14	県	海岸防災林造成, 保安林改良, 整備事業	津波や高波から海岸線を守るための防潮護岸や砂丘を整備。飛砂防止のための海岸防災林整備等	H24～	実施中	[H24年度] ・植松地区 改植工0.29ha 静砂垣工 ・柳川地区 改植工0.19ha 静砂垣工 ・波崎地区 改植工0.10ha 静砂垣工 [H25年度] ・植松地区 防潮護岸工160m, 砂丘整備150m, 改植工 0.10ha 静砂垣工 ・松下地区 砂丘整備 1,200m ・波崎地区 改植工 0.37ha 静砂垣工等 (一部H26.3施工予定) ・調査, 測量, 設計委託 5件
15	県	海岸保全施設の現況調査及び護岸開口部対策	護岸の高さ、耐震性などの調査を実施する。護岸の開口部の閉鎖を実施する。	H24～H25	実施中	舍利浜地区の護岸(L=110m)について、護岸高の調査、耐震診断及び護岸開口部の閉鎖を実施。
16	県	鹿島港南北公共埠頭防潮堤整備	北公共埠頭については築堤、南公共埠頭については擁壁によるT.P+5.0mの防潮堤を整備	H24～	実施中	[H25年度] 基本設計, 測量業務, 地盤解析, 詳細設計
17	国	鹿島港中央防波堤・南防波堤整備	鹿島港の中央防波堤・南防波堤整備	—	実施中	[H25年度] 中央防波堤40m, 南防波堤30m ※未整備部分(H25.3.22現在) 中央防波堤225m, 南防波堤890m
18	国	利根川下流域の護岸・堤防嵩上げ	利根川下流域において、護岸工事・堤防嵩上げを実施	H24～	実施中	【霞ヶ浦河川事務所】 [H24年度] 堤防嵩上げ L=110m(太田地区) [H25年度] 法覆護岸工 約2,230㎡, 施工延長 約300m(太田地区) 【利根川下流河川事務所】 [H24年度] 護岸工事(矢田部地区)※H26.3まで
19	国	樋管ゲート設備の耐震化, 遠隔操作化	樋管を通じた堤防内への水進入防護のため、樋管の耐震補強工事、樋管ゲートの自動開閉、及び樋管ゲートの遠隔操作工事を実施	H24～	実施中	【利根川下流河川事務所】 [H24年度] 太田排水樋管・矢田部排水樋管(遠隔操作化, 耐震化) 川尻第六排水樋管新設 [H25年度] 川尻第六排水樋管(遠隔操作化)

(避難場所の確保)

No.	実施機関	事業名	事業内容	実施年度	実施状況	実績
20	市	避難ビル協定の締結	津波発生時の一時避難場所として、民間で所有する3階建て以上の建物を避難ビルとして指定するため、協定の締結を行う。	H24～	実施中	平成26年1月末現在 28施設を指定
21	市	砂山都市緑地津波対策事業	東部コンビナート内の既存の丘に園路や誘導灯などを設け、大津波時の緊急避難先として機能するよう整備。	H25～	実施中	[H25年度] 測量, 設計業務
22	市	(仮称)土研跡防災公園整備事業	備蓄倉庫, 耐震性貯水槽, 防災トイレなど, 防災機能を備え, 約60,000人が一時避難できる避難場所として防災公園を整備	H18～	実施中	平成18年度より土地利用構想, 整備計画等の策定を行い21年度に用地を取得後, 22年度に工事着手した。23年度は造成工事や調整池工事, 24年には耐震性貯水槽や雨水・汚水・電気等の幹線工事を実施し, 25年度は備蓄倉庫の建設や, トイレ, 植栽等公園施設を整備して26年3月に工事を完成させ, 芝生等の養生期間を置き平成26年6月の開園を予定している。
23	市	波崎地区防災拠点施設整備	波崎総合支所敷地内に支所機能を有した防災拠点施設を整備	H24～H27	実施中	[H24年度] 基本計画, 基本設計 [H25～H26年度] 実施設計

(避難所機能の充実)

No.	実施機関	事業名	事業内容	実施年度	実施状況	実績
24	市	備蓄品, 防災資機材の充実等	非常時のための保存食・保存水等の備蓄品, 防災資機材を充実するとともに, 備蓄場所を拡充	H23～	実施中	(H26.1現在の備蓄品) ・食料: アルファ米, 缶入りパン等(10,724人分) ・飲料水: 保存水(10,533人分) (H26.3搬入予定資機材) ・炊き出し関係, トイレ関係, 電気器具, 投光機, 不織布毛布, 救助関係, 車いす, パーゴラ用テントセット等 (備蓄場所) ・市役所など8箇所→中学校など38箇所に拡充
25	市	非常用井戸ポンプの整備	災害時の飲料水を確保するため, 避難所となっている小中学校や高等学校等の45施設に非常用井戸ポンプを整備	H23～26	実施中	[H23年度] 2箇所 [H24年度] 9箇所 [H25年度] 9箇所(H26.1末) 既整備済み 1箇所 合計21箇所
26	市	震度感知式鍵ボックスの設置	避難所へのスムーズな進入を可能にするため, 震度5弱で自動的に開く鍵ボックスを整備(全29施設)	H25～26	実施中	[H25年度] 中学校8校 小学校3校(波崎小, 柳川小, 旧波崎東小)